

SCE・Netの活動と成果

■業務受託

- **大学関係**：プロセス制御講義(2010年～)
- **化学会社**：機能性ポリマー製造プロセス構築のための技術指導(2010年)、高粘性流体の混合、評価シミュレーション技術指導(2011年)、合成アルコール触媒・分離精製技術指導(2011年)、発酵プロセスガス回収・精製技術指導 など
- **装置メーカー**：マレーシア現地製造会社・業界状況アドバイス(2010年)
- **制御器メーカー**：次世代制御システムに関するコンサルタント(2011年～)、粉塵爆発防止技術指導(2012年)、下水処理発電プロセスに関する技術指導(2012年)

■公開講座

- 社会人向け公開講座(2009年～)

■出版執筆

- **安全研究会**：AIChEのCCPS (The Center for Chemical Process Safety) 提唱の「プロセス安全測定基準」改訂版の完全翻訳
- **装置材料研究会**：「プラント損傷事例集」CD版市販
- **エネルギー研究会**：「図解新エネルギーのすべて」改訂3版、「熱とエネルギーを科学する」出版

■産学官連携

- インケム 産学官マッチングフォーラム司会を担当 (2009、2011年)
- グリーン・イノベーションEXPO2012 産学官マッチングフォーラム司会を担当 (2012年)
- 化学工学会年会にて化学産業技術フォーラムに参加、シンポジウムを開催 (2010、2011年)

■研究会

環境研究会

会員は現在8名です。最近のテーマは、中国の工場での安全・環境問題を扱う中国技術雑誌の評論サービス、企業CSR報告書の「第三者意見」検討、公開講座の企画；原子力と放射能、他に短期テーマ等で掲げ活動しています。

安全研究会

AIChEのCCPSで毎月発行されているPSBをボランティアで翻訳する契約をしており、和訳文はAIChEから直接メール配信されているのに加え、記事についてのコメントを「談話室」としてHP・化学装置誌に掲載しています。

エネルギー研究会

マイ・テーマで収集・整理した情報を研究会で発表・討議し、結果を共有のクラウドにアップしました。

装置材料研究会

金属材料の腐食・防食技術等に関する情報交換を目的に、年に何回か研究会を開催し、またプラント材料に関する失敗事例(損傷事例)を継続的に収集しており、「プラント損傷事例集」(CD-ROM)として、改訂版・増補版を毎年出版し、多くのユーザーやメーカーの材料技術者に役立てて戴いています。

教育研究会

お茶の水女子大学の「化学・生物総合管理の再教育講座」に環境、エネルギー、リスク、化学プロセスを対象とした7科目、105講義を提供しました。現在の「知の市場」の社会人向け公開講座の開講に続いています。また、教育の歴史や道德教育、技術者倫理など、会員の関心事について議論を重ね成果をHPで発表しています。

神奈川研究会

これまでの研究会で、レアアース・スマートエネルギーネットワーク・新エネルギー事情・原子力発電・電力貯蔵のニーズと技術等について、知見を深めてきました。タイムリーに見学会を行い、外部情報の収集や外部との意見交換もおこなっています。

■技術懇親会

年6回実施し、会員の新知識の習得、教養の増進に資するとともに、会員相互のみならず化学工学会傘下の関東支部や開発型企業の会の人とのface to faceによる情報交換を行っています。

■交流会

見学会は年2回程実施しており、毎回10～20名の参加者があります。

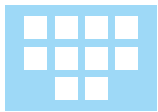
今年は3月に千葉大学園芸学部(松戸)、7月に東日本大震災の被災地(宮城県)を訪問しました。

沿革

- 2000年4月 設立
- 2000年 NEDO 委託業務受託
- 2002年 安全、環境、エネルギー研究会発足、技術懇談会発足
- 2003年 「進化する化学技術」出版
- 2004年 装置材料研究会、教育研究会発足
- 2005年 お茶の水女子大学「化学・生物総合管理の再教育講座」で7科目開講
- 2007年 交流会発足
- 2009年 知の市場に参画 社会人向け公開講座
- 2010年 化学工学会グリーンイノベーションを目指して 化学産業技術フォーラムに初参加
創立10周年記念

会員構成

2013年4月現在



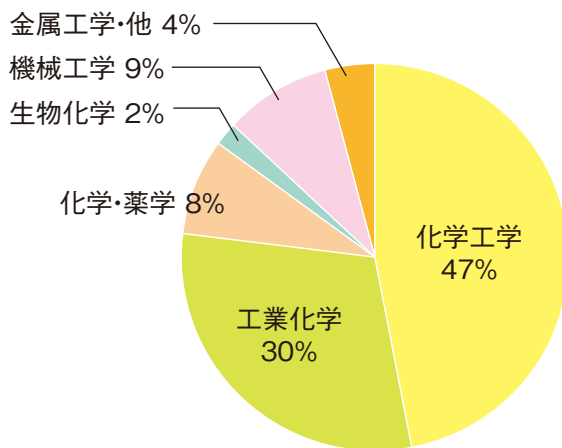
法人会員 14社



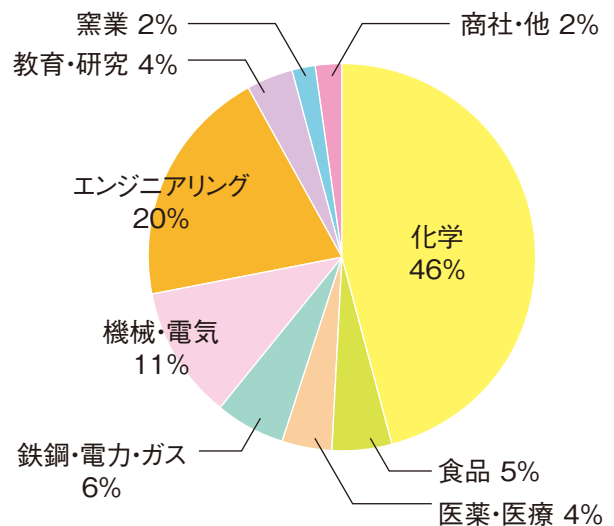
個人会員 90名

個人会員の構成

専門分野



出身業界



取得資格

博士号取得者	工学19名、理学1名、農学1名、学術1名
技術士	化学13名、金属2名、水道1名、農業1名、衛生工学1名
公害防止管理者	大気1種21名、水質1種29名、騒音6名、振動2名
高圧ガス製造保安責任者	甲種機械12名、甲種化学18名、第一種冷凍機械2名
ISO 関係資格	9名
危険物取扱者（甲種）	30名
廃棄物処理設備管理者	3名
エネルギー管理士	9名
放射線取扱主任者	5名
環境カウンセラー	4名
衛生管理者	3名
その他資格者	24名